

大会宣言

新潟県小学校長会は、真摯に研究と実践を重ね、会員の英知と組織の総力を結集して、本県小学校教育の充実・発展に着実な成果をあげてきた。平成二十七年開催の第六十七回関東甲信越地区小学校長研究協議会新潟大会を経て四年サイクルの総括として行った平成二十八年度の地区研究集会、及び当校長会が中心となつて企画・運営した日本教育会設立四十周年記念第四十一回全国教育大会新潟大会においては、当校長会の研修の充実ぶりと結束力の強さが確認されたところである。

今、社会では、教育による地方創生対策等が叫ばれ、学校教育に対する期待と要請が高まっている。とりわけ、人間関係の希薄化が進む中、人と人との絆づくりに取り組み、地域に根ざした未来を創ることのできる子どもの育成が求められている。また、学校が抱える課題はますます多様化・複雑化し、学校経営の舵取りが難しい時代を迎えている。加えて、子どもの教育を保障するため、多発する自然災害に備え、緊急事態に適時対応できる体制整備の必要性も高まっている。

このような状況において、学校教育の果たすべき責務は、新学習指導要領にも示されたように、地域や行政と協働し、未来社会の創り手を育てるべく、確かな学力や豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を確実に育むことである。具体的には、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成や学習意欲の向上、いじめを見逃さない・許さない意識の醸成、よりよい人間関係を構築していく力の育成などを図ることにある。そのためには、社会に開かれた教育課程を通して、よりよい社会の形成者としての自覚を高めていくことが何よりも重要である。

新潟県の学校教育においては、「個を伸ばす教育」一人一人の個性を尊重し、伸ばしていく教育の推進「の理念のもと、「ふるさとへの愛着と誇りを胸に、粘り強く挑戦し未来を切り拓く、たくましいひとづくり」を実現することを課題とし、教育施策の方向性が示されている。また、包括的権限移譲された政令指定都市新潟市の学校教育においては、「学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども」の育成を基本目標に、「学・社・民の融合による人づくり・地域づくり・学校づくり」を推進する教育施策の方向性が示されている。新潟県・新潟市とも、「地域とのつながり」を重視した教育活動の充実を求め、その成果を地域力・住民力の向上につなげようとする姿勢と受け止めることができる。

私たちは確固たる経営理念と高い使命感をもち、校長としてのリーダーシップを発揮しながら、地域や学校の実態に即した明確な方針と具体的な方策を提示し、教職員の力量を高め、家庭、地域の人々と共に創意と活力にあふれた学校づくりに努めなければならない。そのために、会員は鋭い先見性と豊かな創造性を結集して、県民・市民の信頼を勝ち得る校長会を目指す。

新潟県小学校長会は、ここに第七十七回新潟県小学校長会代議員会新発田・胎内・聖籠大会の総意に基づき、次の決意を表明し、その実現に全力を尽くすことを宣言する。

記

- 一、教育改革と新学習指導要領への対応
- 一、他者と協働しながら絆を強め、高い志をもって学び続ける子どもを育てる学校経営の推進
- 一、「生きる力」の育成を重視した、社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、学校経営者としての資質向上を図る研修の充実
- 一、「地域とともに歩む学校づくり」の成果発信
- 一、新潟市への包括的権限移譲に伴う、県小学校長会各部等の組織・運営の改善・充実
- 一、地域連携を基盤とした防災教育実践の推進と、東日本大震災で被災・避難した児童への支援の継続
- 一、教職員定数・処遇等の改善及び福利の向上を目指した要望活動の継続
- 一、会員相互の連携と学校経営の改善・充実に資する広報活動の充実

平成二十九年五月十日

第七十七回新潟県小学校長会代議員会新発田・胎内・聖籠大会